

つ
鶉



つ
魚



A J U

つうしん

岐阜ダルクニュースレター 冬号

今年もありがとうございました

遠山 香

18年度も、はや終わろうとしています。1年を振り返ると、新しい出会いがたくさん与えられました。我が家の息子と同年の19歳でシンナー大好き少女、薬物撲滅運動を起こすと豪語してダルクに度々顔を出す覚せい剤が止まらない30代半ばらしき男性、食事がのどを通らないと言って一日中食べる事に関してとらわれているものの食事時ガツガツと噛まずに飲み込んでいた摂食障害の28歳の青年と、様々な仲間との出会いがありました。同時に別れもありました。

また、パソコンをさわった事がない私に地図が書けるようになるまで教えて下さった方、フリーマーケット先でダルクの活動に興味を持ち、ホームページ作成のお手伝いをしたいと言ってくれた学生さん、講演先で声を掛けてくれてご支援下さるようになった方など多くの支援者の方との出会いもありました。

つい最近、ダルク設立当初からニュースレターを送り続けていたある教会の方から電話がありました。「いつも読ませて頂いています。ダルクに寄付をしたいと思ってましたが、なかなかできずにいました。今回クリスマスコンサートを行います。その収益金を寄付させていただきます」とのことでした。そしてダルクを見学に来て下さいました。地道に活動を続けていればこうして目を向けてくださる方がいることを実感し、大変うれしく思いました。

10月には薬物依存症者の回復支援「たんぼぼの会」が発足しました。薬物依存症のネットワークが少しずつ広がって来たことを大変心強く思います。

そして、12月3日に行われた2周年フォーラムではダルクを知らなかったという方もたくさん来られ薬物依存症者のメッセージが届けられたことに感謝します。残念なことは、司法関係者との繋がりが少ないことです。来年の課題です。

苦しい時、悲しい時、しんどい時、多くの方々に支えられていることで乗り越えることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともベストを尽くして活動していきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

どうか皆様良い年を迎えられますようお祈りしています。

2周年フォーラム 特集!

12/3(日)ふれあい会館にて「共生」をテーマに岐阜ダルク2周年フォーラムが開催されました。

ダルクの仲間をはじめ、家族・支援者など沢山の皆様にご参加いただき、ゲストスピーカーの信田さよ子氏の話、支援者の菊池牧師様の話、ダルクの仲間たちの話とどれも参加者の皆様からご好評をいただきました。

又、当日の献金として¥208,411.- 手作り手芸品の売り上げとして¥13,030.-を皆様から頂戴いたしました。本当にありがとうございます。当日のアンケートより、参加者の皆様の感想を特集しました。

岐阜ダルクを知っていた方々のメッセージ!!

- 一人だけでなく、兄弟・家族・友人・仲間と一緒に生きていく事、絆って、自分の事を含めて大切な事なんだと改めて考えさせていただく機会となりました。
- ダルクのメンバーの方と支援者に敬意を表します。最も、本当の人間らしさを持ちつつ、それが苦しくてアディクションに溺れ、そこから回復される努力を続けておられる方を応援したいと思います。
- 遠くから来た価値がありました。牧師様のお話のように、今日生かされていることに感謝して、息子が今日生きていることに感謝して、未知なる明日を案じることなく生きていこうと思います。
- 自分を見失い、「今」を自分らしく生きる方法が分からなかったけれど、「私は私でしかない」ことに気づかされた。他人の評価、視線を気にせずに生きたいです。
- 本人の率直なメッセージにいつも元気をもらってます。薬物の問題は子供の問題から、自分の問題へと変わってきています。私は私の人生をどう生きたいのかをいつも考えています。
- 依存症について知ることができてよかったです。各地域のダルクの状況や、ダルクがどのようなものか知ることができました。
- 友人が、処方箋依存で、病院に運ばれた時に感じたこと、思ったこと、分からなかったことが理解と整理ができました。
- 自分の問題と真剣に向き合っている人達のお話はとても心に響きました。

薬物依存、家族が守って

信田さよ子氏 岐阜市

薬物依存症の回復を支援する民間団体「岐阜ダルク」(岐阜市住吉町、尾上アミティン)で、尾上アミティンでカウンスリングセンターを運営する信田さよ子氏(岐阜市住吉町、尾上アミティン)が、2周年フォーラムで、講演した。信田氏は、薬物依存症の回復を支援する民間団体「岐阜ダルク」の代表として、講演した。信田氏は、薬物依存症の回復を支援する民間団体「岐阜ダルク」の代表として、講演した。

信田氏は、薬物依存症の回復を支援する民間団体「岐阜ダルク」の代表として、講演した。信田氏は、薬物依存症の回復を支援する民間団体「岐阜ダルク」の代表として、講演した。

平成18年12月4日(月)岐阜新聞

岐阜ダルクを知らなかった方々のメッセージ!!

- どのような集まりかも知らずに参加しました。当事者の方たちのお話を聞け、遠くの世界のことと思っていたのですが、見方が変わったと思う。特に意志の弱い人という見解が違うと分かった。
- 薬物依存については何も知らず生活してきたのですが、子供が依存症になってしまい、この先どうしたらいいか悩んでいます。ダルクのことも知らなかったです。
- 誰にでも自分を保つために必要とするものや存在があると思った。依存症も種類があるし、自分自身も依存症だと思った。だから、特別視することはないだろうと思った。誰もが当事者になりうると思った。拍手とかハグとか名前を呼ぶ声が暖かかった。今日の話はきっと役にたつ。
- 何という病気なのか親として困っていたが、薬物依存症であることがはっきりしました。本人の体験談が非常に参考になった。
- 学校で勧められての参加で「ダルク」というものが全く分からない状態でしたが、薬物依存症者にとつての「ダルク」を感じる事ができた。
- 自分と違った世界のことだと思っていなかったのに、思っていた自分に気づいた。あまりにも自分にあてはまることで、熱い思いを感じた。
- 初めてダルクを知った。当事者・信田先生・牧師さんの話を聞き、考えたことのない薬物依存症、家族の問題について知ることのできた良い機会になりました。
- 依存体験の大変さ、回復のプロセスの困難さを知りました。
- 自分を見つめて生活している正直な話、押し出すような言葉にホンモノの生きる姿・心を感じ感動した。



仲間の話・はなし



フォーラムを手伝ってくれた名古屋ダルク・プロジェクト三河ダルクの
仲間たちからメッセージをもらいました

開設 2 周年おめでとうございます。沢山の方が来場され追加のイスを何度も出しました。本当に沢山の人に支えられているんだなと感じました。岐阜ダルクに月 2 回通い、長良川沿いを走ります。金華山の麓にとても大きな樺が何本もあります。そこで一度足を止めます。“すごいなあ”といつも感じます。自分の小ささを実感し、木に触り、また走り始めます。夏は暑く、脱水しかけ川に飛び込みます。プールに行きたいと願っていたら長良川がありました。水泳をやっていた仲間に泳ぎをおしえてもらいました。冬はとても寒く、風も強い時はハードでしたが、自然の中を大きく走れるのはいいなあとタマに行く私は気楽に思います。この 2 年間に何度も岐阜ダルクを利用して戴きました。止まっていたステップ 4 も岐阜で終わらせる事ができました。回復の場を提供しつつける方、支え続ける方々がおられるのはスゴイ事だなと感じました。金華山の樺の様に年輪を重ね続け、沢山の人が通過してゆくのだらうなと思いました。私もその一人で、岐阜で沢山の力をもらいました。2 周年おめでとうございます。

トモキ

岐阜ダルクフォーラムに参加させて頂いてありがとうございます。昨年の 8 月に名古屋ダルクに通所させてもらい、リハビリが始まりました。ミーティング場で岐阜の仲間と分かち合ったり、共に運動をしたりとフェロシップを深くとらせてもらっています。

岐阜での体験で、昨年末に仲間と共に運動時に、金華山に雪が積もる中、‘嫌々’登った事を思い出します。「死んだらどうしよう？」等、不安が次々と混み上げましたが、頂上に着くと、素晴らしい景色が待っていました。

今回、フォーラムのテーマが「共に生きる」でしたが、自分自身、長くダルクでのリハビリを過ごし、仲間との出会いや、別れを思い出しました。仲間とうんざりし、裁き、居場所を替え、人を変え、生き続けて来ました。生き方に問題があったのは自分でした。今日、生きていられるのは支えられている人達が居てくれるからだと感じます。

ゴツツァン

岐阜ダルク 2 周年おめでとうございます。岐阜ダルクができた頃、何回か泊まりに行った事があります。今も 2 週間に 1 度は行っています。夏は長良川で泳いだり、飛び込んだり、ウキワにまたがって流されたり。マラソンは走るコースがとても気持ちいいです。自分は名古屋ダルクで 2 回目のリハビリをしています。1 回目のリハビリで 2 年 4 ヶ月、

薬が止まりました。もう良くなったとか、使ってもコントロールできるだろうと思ってました。でも、無理でした。1 回使ったら、昔と同じ生活にもどり、止まらなくなりました。もう一度助けを求めて、今は 4 ヶ月が過ぎました。これからもヨロシクお願いします。2 周年おめでとうございます。

黒潮

先日、岐阜ダルク開設 2 周年フォーラムに参加しました。そこで、大勢の方々の前で自分の話をする機会を与えて頂きました。一番最初に当てられました。緊張しました。声も震えました。頭の中が真っ白になりました。話している最中、何度も「これで良いのか」「こんな情けない話で良いのか」「綺麗言を並べてはいないか」「誤魔化す様な言いまわしをしていないだろうか」と自問自答しました。話し終わりました。拍手をもらい、かおりに温かい言葉をかけてもらった時、また自分は余計な心配をしたのだと気が付きました。格好良い話なんか出来なくて良かった。むしろ、出来ない事でした。無理に自分を良く見せよう等、思わなくて良かった。有りのままの話をして、恥をかいて、仲間に「おつかれ様」と声をかけてもらった。それだけで良かった。そう感じる事が出来た自分はまた、少しだけ成長出来た様な気がします。クリーンで良かった。これからもクリーンで有りたい。今は心からそう思えます。ありがとうございます。

えりか

“必要ならば与えられる”

クリスマスのイルミネーションが今年は美しく感じます。冬の風は冷たいけど、光と笑顔はあたたかく感じます。岐阜ダルク開設 2 周年フォーラムはたくさんの方が参加され、ダルクの必要性和香の人柄を感じました。準備の頃から足を運び、出逢い、支えられて今を迎えたと思います。これからも岐阜ダルクが暖かく見守られる様、祈っています。

自分はこの一年、三河ダルク設立に向けて活動しました。歩く事から始まりました。電車に乗って人に会いました。資金が集まらなくて落ち込みました。会ってもらえなくて、腹が立ちました。物件が見つからなくて焦りました。一人で歩き始めたつもりだったけど、一人じゃなかった。支えられながら、活動が一人歩きを始めました。支援してくれる方に出逢えました。一からダルクを作って来たなかまに力をもらいました。香にはよく聞きました。初めて献金をもらった時もうれしくて電話しました。ありがとう。イライラしたり、落ち込んだり、逃げたくなったり、かっこ悪い自分が今日もいます。いい人をするのもパフォーマンスするのも今までの自分の生き様です。それを止めたら一人ぼっちになる様な気がしてました。妄想でした。“必要ならば与えられる” 必要だから人と出逢えました。必要だから物件が見つかりました。集まった献金が減っていきます。胃が痛い。“必要だから与えられる”。助けてください。自分自身が生きていく為に。

三河ダルク 笠嶋 敏

10月～12月 活動報告

10/3 中濃地域薬物乱用防止意見交換会	11/14 関市保護司会講話
10/4 岐阜県教師研修会講演	11/18 朗読劇「ひまわり」
10/7 ボランティアの集い実行委員会	11/19 江南カトリック教会募金活動
10/8 信長祭（ブースにて広報）	11/25 日本福祉大学講話 たんぼぼの会
10/14 ソフコイ祭フリーマーケット	11/26 びわこダルクフォーラム
10/15 ピアサポートセミナー	11/29 岐阜ラジオ放送出演
10/22 ダルク後援会	12/3 岐阜ダルク2周年フォーラム
10/23 西濃地域薬物乱用意見交換会	11/15 12/8 岐阜刑務所面会
10/25 岐阜県教育委員会 薬物乱用防止教室講演	12/15 愛知県立大学講演
10/26 名古屋ダルクジョイントフォーラム	12/16 アガベチャーチ士岐教会クリスマスコンサート
10/28 薬物依存症回復支援の会「たんぼぼ」	12/17 日本キリスト改革派那加教会募金活動
10/29 一宮聖光教会バザー	12/19 美濃中学校講演
11/3 宮崎ダルクフォーラム	12/21 本巣中学校講演
11/4 各務原市ストリートダンス フェスティバル（ブースにて広報）	12/22 歳末たすけあい指定寄付金贈呈式
11/12 小牧カトリック教会バザー	12/23 ダルククリスマス会
	12/24 おがせキリスト協会ゴスペルハウスクリスマス会
10/2 11/10 11/24 12/6 12/21 笠松刑務所	10/6 10/6 10/14 ビアサポートセミナー実行委員会
10/7 12/2 12/16 ボランティアの集い実行委員会	10/7 12/2 慈恵中央病院 NAメッセージ
10/10 11/20 12/4 各務原病院メッセージ	10/11 11/8 薬物相談日 10/13 12/21 岐阜刑務所メッセージ
10/21 11/11 女性サポートグループ	

鶴黠サポーターズを立ち上げます！！

岐阜ダルクを支援する鶴黠サポーターズの発足です。皆様の参加をお待ちしています。皆様のアイデアと一緒に出来る支援を考えませんか？

サポーターの貴方のできること

例えば・・・ 鶴黠つうしんの年間購読 鶴黠つうしんの配布等のお手伝い
鶴黠つうしんを貴方の職場・お店・学校に置かせてくれること
バザーのお手伝い ダルクの活動の橋渡し etc

サポーターズの皆さんとの交流会（バーベキューなど）・勉強会も企画予定中。
難しい参加資格はありません。どうかお気軽にご入会・お問い合わせ下さい。
次号にて入会方法等の詳細をお知らせいたします。

献金者名

★ 10月1日～12月15日受付分（敬称略・順不同）

たくさんの皆様より献金・献品をいただきまして、有難うございます。
引き続き、皆様の心温まる、ご支援を心からお願い申し上げます。

小島良敬 岡田喜美江 岡村晴美 仲澤ますみ 上田千津子 遠山光子 岡田千歳
神谷慎一 堀田陸朗 稲垣喜則 服部慧源 池田ひろみ 塩谷倫恵 川原聖 丹羽玲子
相原洋子 三嶋須磨子 沢田勝彦 伊藤隆二 大出静枝 吉田和郎 大須賀すみ
山田七緒子 三輪一枝 福安一幸 松井兼 宮西公良 足立政子 大久保裕美
穂波万有里 小野木則子 藤原淳子 中本アキヒコ 池田正義
可児キリスト教会・後藤善良 各務原教会・宗像亮二 カトリック小牧教会・早川勉
インマヌエル岐阜キリスト教会・内山繁実 フィット薬局・中田周三
日本キリスト教会岐阜教会 岐阜カトリック教会 岐阜ルーテル教会 大垣信徒会
一宮聖光教会 岐阜純福音教会 江南カトリック教会 カトリック小牧教会 ピア岐阜
日本福音ルーテル岐阜教会 岐阜加納教会婦人会 聖心の布教姉妹会鳴海修道院
幼き聖マリア修道会 愛知家族会 全国薬物依存症者家族連合会

献品者名

浅井喜美子 岡村晴美 池田ひろみ 土田弘子 吉田篤生 渡辺浩子 穂波かずる
穂波万有里 高崎直子 大久保裕美 飯田三千栄 しい 日本キリスト改革派那加教会
岐阜カトリック教会 日本キリスト教会大垣教会

皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

お振込みの際に、匿名を希望される方は、恐れ入りますが、その旨を振込用紙にご記入下さい。なお恐縮ながら、発送作業簡略化のために、すべての皆様に振替用紙を同封させていただきますこと御了承下さい。



献金のお願い

岐阜ダルクは皆様の善意の寄付によって支えられています。
薬物依存症に陥ると、多くの仲間が命をおとします。
回復できる場所があれば、命が助かります。
回復の場を維持するのに資金が足りなくて大変困っています。
どうか、皆様の心あたたまるご支援をお願いいたします。

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434 岐阜ダルク 代表 遠山 香

編集後記

今年も残りわずかとなりました。仲間やささえられ、ダルクのメッセージを一人でも多くの方に届けたいという気持ちで慣れないニューズレター作成に携わってきました。

“いつも楽しみにしているよ”と言った声をいただくたびに嬉しく思っています。拘置所にいる仲間からも、感想もらいました。仲間が出てくるまで、ずっとメッセージを出し続けたいなと思いました。あと何年？ その頃はどんな風にダルクや仲間、そして私はなっているのでしょうか？ 今回のフォーラムでは仲間と共に作業すること、自分でできることをすることを体験しました。来年のフォーラムが今から待ち遠しい気分です。何より嬉しかったのは、ダルクを知らなかった人が100人近くも来てくださったこと。その100人がまた一人にメッセージのリレーをして下さることを期待しています。一年間、鶴鮎つうしんをお読みいただいたことに感謝します。

皆様と共に良き新年がありますように。皆様のご健康と幸せをお祈りいたします。

感謝のうちに



☆☆☆ (黒猫じじ)

鶴鮎つうしん 冬号 (No.6)

★編集 岐阜ダルク

〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434 岐阜ダルク 代表 遠山 香

★ 定価 一部・100円 ★ 編集責任者 遠山 香

★ 発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会

名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター